

途上国の子 貧困の「籠」 関心持ち行動を



課題図書を手を受賞を喜ぶ村上さん

女学院高の村上さん 読書感想コン部門最優秀賞

広島女学院高2年の村上七海さん(17)は広島市西区が、途上国の子どもの貧困問題をテーマにした読書感想文コンクールで、高校の部の最優秀賞に輝いた。「受賞を励みに視野を広げ、学びを深めたい」と意気込む。

コンクールは、国際非政府組織(NGO)プラン・インターナショナルの主催。世界各地の人身売買や早すぎる結婚を告発する課題図書「わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。」を読み、感想文をまとめた。

村上さんは少女たちを「籠の中の鳥」と表現。「あわれむ前に興味を持ち、行動に移そう」と呼び掛けた。男女を問わず「籠」から出るために学ぼう、とも主張。説得力の高さが評価された。

村上さんは「嫌悪感や反発が先立ったが、男の子も『女の子に劣ってはいけない』とい

った圧力の籠の中にあると気付かされた」と振り返った。

高校の部には、全国から529点の応募があった。同高の生徒の最優秀賞の受賞は、昨年につき2年連続。(馬場洋太)